

私と国有林

理想的な里山を目指して

千葉県森林インストラクター会 会長 小池 英憲

私が所属する、千葉県森林インストラクター会（略称：FIC・フイツク）は千葉県に在住する方を中心として平成6年に創設され、現在126名の会員登録があります。私達は多彩な森林の持つ魅力や不思議さを紹介すると共に、森林や林業の仕組みや機能、また自然の大切さを皆様にお伝えする活動を千葉の森を中心に行っています。

勤めていましたので、国有林をお借りして樹木の生産を行っていました。その関係もあり年2回行われる植樹祭に参加し苗木の植え方、署員の方が森を愛し木を大切にしている姿を学びました。国有林とのお付き合いが長く、親しみを持っていましたので、平成15年に「ふれあいの森」としてFICと協定を結ぶことが出来たときは喜びがひとしおでした。その後活動を環境教育の分野まで広げべく平成22年度に「遊々の森」制度の締結を行いました。



遊々の森のヤマザクラ



作業前の集合写真

・国有林との出会い
私自身の国有林との出会いは古く30年前ごろで植木を生産する会社に

FICの国有林での活動

現在、千葉県君津市馬登に「ふれあいの森」「遊々の森」の制度で約3畝の薪炭林の跡地を利用させて頂いています。当地は鹿野山の北西斜面に位置し馬登地区が薪炭林として利用していた跡地で、100年生のヤマザクラが多く残り、植生の豊かな素晴らしい緩斜面です。



バイオネスト(発生材処理)

FICの定期的な活動は月に1回会員の研修を目的に、裸足で歩ける里山を目標に笹刈り、枝打ち等の整備を行っています。作業にかかる前には山の神に安全祈願を行い、作業は枝条等を「持ち出さない」「持ち込まない」を基本理念として工夫しながら作業していま

す。作業と平行して植生調査・照度調査を行い理想的な管理方法を目指しています。

「遊々の森」を利用させていただくようになってからは隠れ家作り、ハンモック遊び、ブランコ、木登り等子ども達の森林教室を年1回開催しています。関東圏から近い場所ですから、多くの方が当地に来てくれることを願って里山管理に励んでいます。



ハンモック遊び